パブリックコメント（意見募集）

石狩市ヒグマゾーニング計画の策定について

令和８年　９月　１日（火）　～　令和８年　９月３０日（水）

石狩市役所　環境市民部　環境保全課

※パブリックコメント後の流れ
このパブリックコメントによる手続きを経て、令和８年１１月から施行する予定です。

石狩市ヒグマゾーニング計画（案）

令和８年　　月

１．はじめに

（１）この計画の趣旨

「ゾーニング管理」とは、人と野生動物をすみ分ける手法のひとつです。
北海道が令和６年１２月に改定した「北海道ヒグマ管理計画（第２期）」では、ヒグマのゾーニング管理を推進することが位置づけられました。
これを受け、石狩市では地域の関係者から意見を聞き、ヒグマとのすみ分けに必要な情報を収集しました。この情報をもとにゾーンを設定し、各関係者が共通の理解を持ってヒグマ対策をおこなうため、この計画を定めました。

（２）位置づけ

この計画は、ヒグマ対策を効果的に実施していくために、対応の目安などをあらかじめ定めたものとなります。
ヒグマへの対応、特に出没に伴う捕獲の判断などは、その事例に応じた情報に基づき、その安全性等を検討することが必要になるため、関係者がこの計画を踏まえた共通認識のもと、スムーズに連携を行い、検討を行います。
また、この計画は対応の目安ですので、特に計画期間等は設けませんが、その運用にあたって不都合が生じないよう、必要に応じて順次修正を行うこととします。
なお、ヒグマ対策に関して、ゾーニング管理を前提とした国の交付金等を受けることとした場合、各交付金等の事業実施計画作成に当たりこの計画を参照することがあります。

２．各ゾーンの定義（表１のとおり）

＜表１：各ゾーンの定義＞

ゾーン	エリア概要
コア生息地 ※利用の状況	健全な個体群の維持（繁殖や生息）を担保するうえで重要な奥山等の地域 ※ヒグマの存在を前提とした限定的な利用（登山など）
緩衝地帯 ※利用の状況	コア生息地と防除地域・排除地域の間の地域 ※ヒグマとの遭遇を想定した利用
防除地域 ※利用の状況	農業、水産業など人間活動が盛んな地域 ※日常的な利用があるが、人の目が届かない時間・場所も多い
排除地域 ※利用の状況	市街地、集落内の住居集合地域等の人間の居住地 ※日常的かつ高密度な利用

コア生息地
ヒグマの生息地として区分するゾーン。
人身事故の恐れ・産業活動に支障がある場合を除き、原則ヒグマの積極的な排除は行わない。
緩衝地帯
コア生息地と防除地域の間にあり、人とヒグマとの接触機会を低減し、防除地域及び排除地域への侵入を未然に防止する地域。
積極的なヒグマの排除は行わないが、有害性が高い個体については駆除を実施する。
防除地域
農業やレクリエーションなどの活動または人の住居が散在する地域。
排除地域
市街地など多くの人が居住又は活動する場所であり、人の安全が最優先となる、ヒグマを確実に排除する地域。

３．各ゾーンの対応方針（表２のとおり）

＜表２：各ゾーンの対応方針＞

	ヒグマへの対応方針
コア生息地 ※取組方針	ヒグマの生息や行動の状況把握に努める。 ※生息地の保全 問題個体以外の捕獲は行わない（春期管理捕獲を除く）
緩衝地帯 ※取組方針	問題を未然に防ぐ ※捕獲による個体数の抑制等、必要に応じて対策を講じる。
防除地域 ※取組方針	寄せつけない。被害を防除 ※地域の実情に応じた対策の構築に取り組む。ヒグマの存在を確認した場合には、その有害性に応じて、接近・侵入防止措置、山林への追払い又は駆除を実施する。
排除地域 ※取組方針	入らせない。入ったらすぐ対応 ※市街地への侵入防止。緊急時の対応体制の整備
共通事項	出没情報の収集・発信、普及啓発・調査研究の促進

４．ゾーンごとの取組及び実施体制

ゾーンごとの主な取組は表３のとおり。

＜表３：ゾーンごとの主な取組＞

主な取組	コア生息地	緩衝地帯	防除地域	排除地域
被害防止のための捕獲	－	－	○	○
ゾーニング管理としての捕獲 （被害防止のための個体数管理捕獲）	－	○	－	－
春期管理捕獲	○	○	○	－
目撃情報の収集及び注意喚起の発信	○	○	○	○
農業被害防止のための電気柵設置	－	－	○	－
作物残渣と廃棄物（生ごみ等）の適正処理	－	－	○	○
ヒグマ出没時における対応訓練	－	－	－	○
調査研究	○	○	○	○

特に取組を重点的に推進する地域は表４のとおり。
ゾーニング管理を通じ、これらの取組を推進するとともに、実施体制の整備と充実を図っていく。

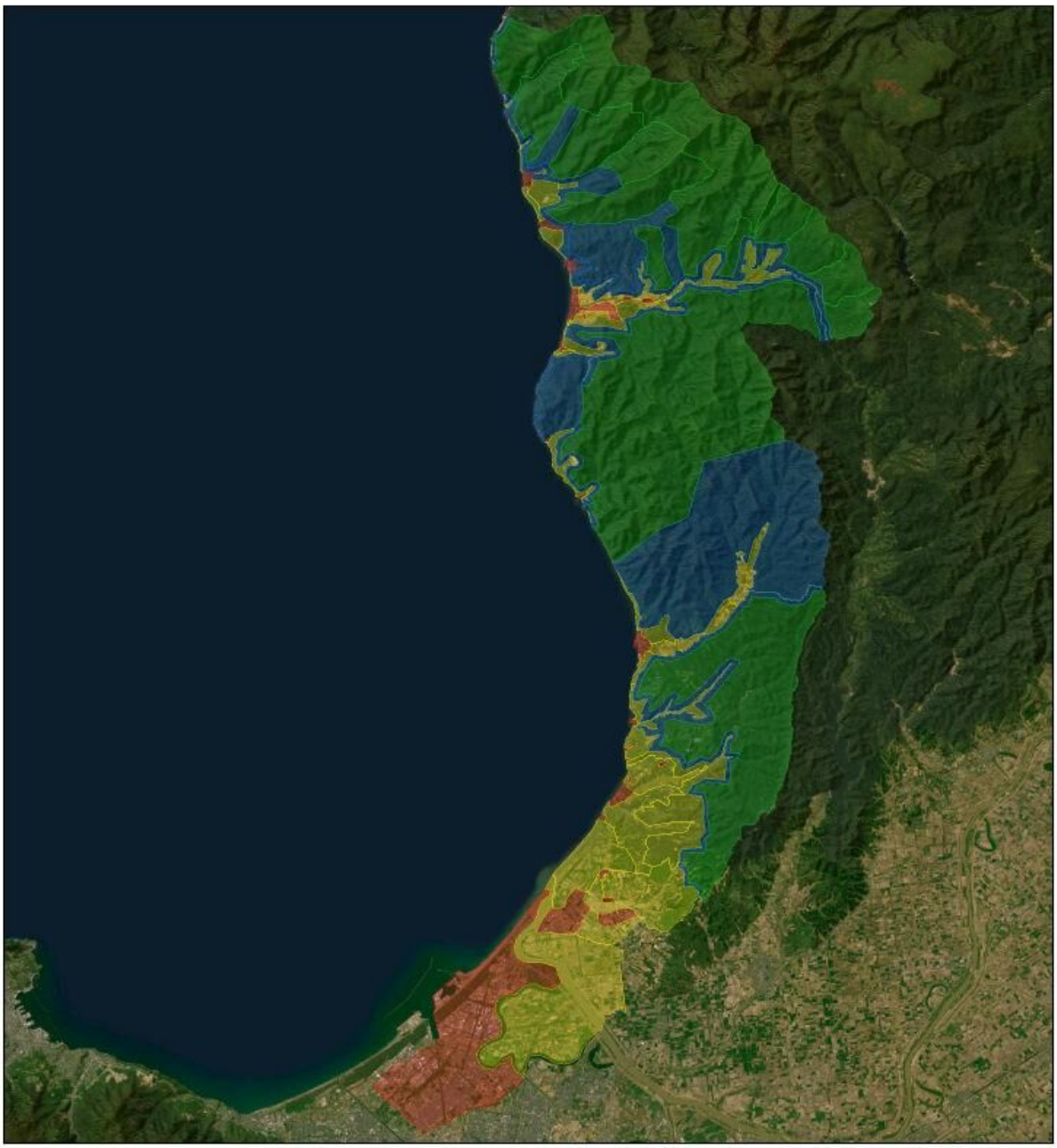
＜表４：取組を重点的に推進するエリア＞

No	地域	概要
重点１	浜益地域	コア生息地と人の生活圏が隣接している場所が数多くあり、住宅地付近での目撃もある。出没が繰り返される場合、防除のため電気柵の設置や、センサーカメラを設置するなど駆除に必要な情報収集などの措置を講じる。
重点２	厚田地域	コア生息地と人の生活圏が隣接している場所が数多くあり、住宅地付近での目撃もある。出没が繰り返される場合、防除のため電気柵の設置や、センサーカメラを設置するなど駆除に必要な情報収集などの措置を講じる。

５．ゾーニングマップ

石狩市全体

ヒグマゾーニング計画（案）



2026/8/24

1:422,399

0 2.5 5 10 mi

0 4.25 8.5 17 km

Earthstar Geographics

：コア生息地

：緩衝地帯

：防除地域

：排除地域

旧石狩市

ヒグマゾーニング計画（案）

2026/8/21

1:100,000

0 0.5 1 2 mi

0 1 2 4 km

Earthstar Geographics

：コア生息地

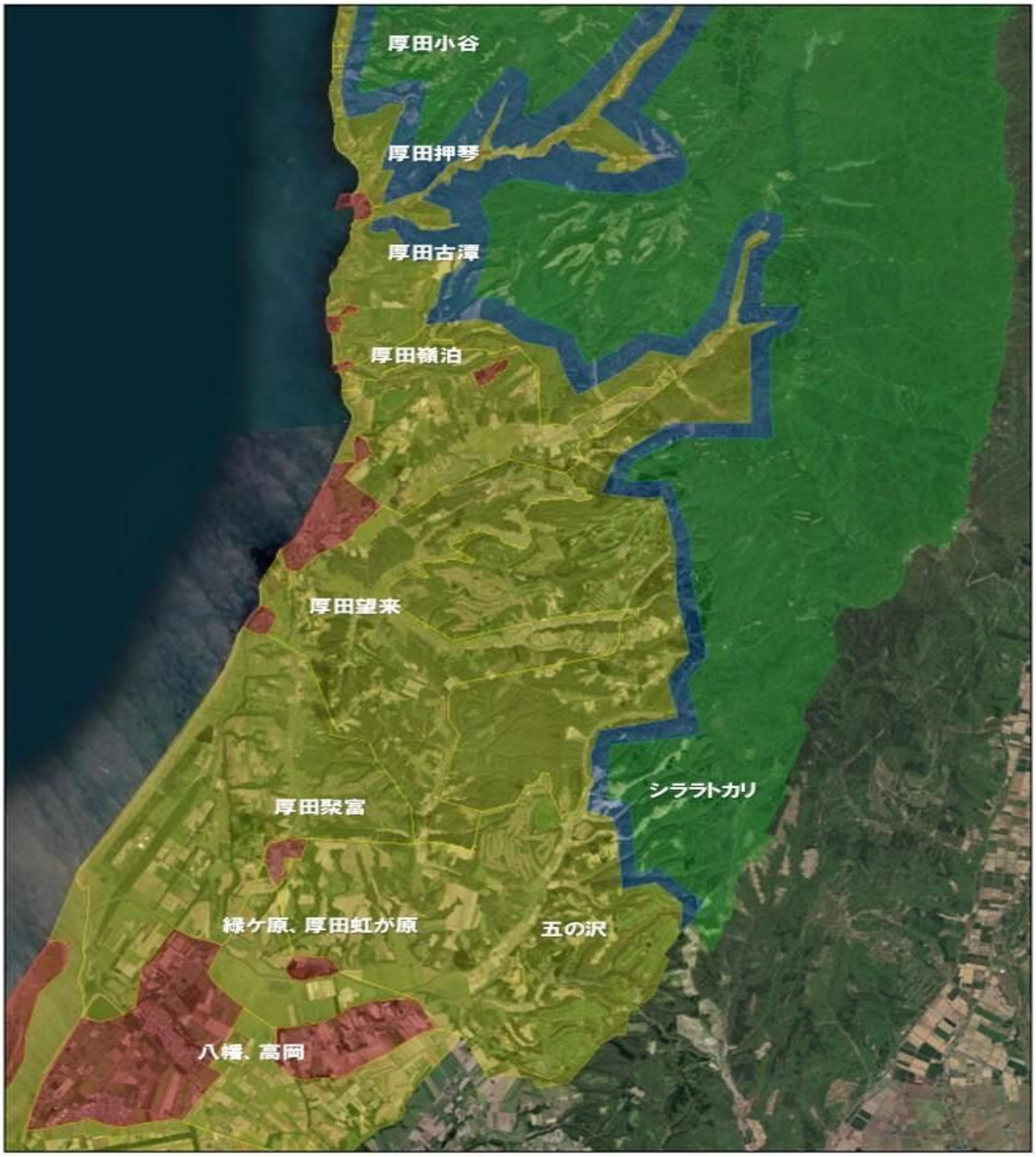
：緩衝地帯

：防除地域

：排除地域

旧石狩市　厚田①

ヒグマゾーニング計画（案）



2026/8/21

1:100,000

0 0.5 1 2 mi

0 1 2 4 km

：コア生息地

：緩衝地帯

：防除地域

：排除地域

Earthstar Geographics

厚田②

ヒグマゾーニング計画（案）

2026/8/21

1:100,000

0 0.5 1 2 mi

0 1 2 4 km

Earthstar Geographics

：コア生息地

：緩衝地帯

：防除地域

：排除地域

浜益①

ヒグマゾーニング計画（案）

2026/8/21

1:100,000

0 0.5 1 2 mi

0 1 2 4 km

：コア生息地

：緩衝地帯

：防除地域

：排除地域

Earthstar Geographics

浜益②

ヒグマゾーニング計画（案）

2026/8/24

1:100,000

0 0.5 1 2 mi

0 1 2 4 km

Earthstar Geographics

：コア生息地

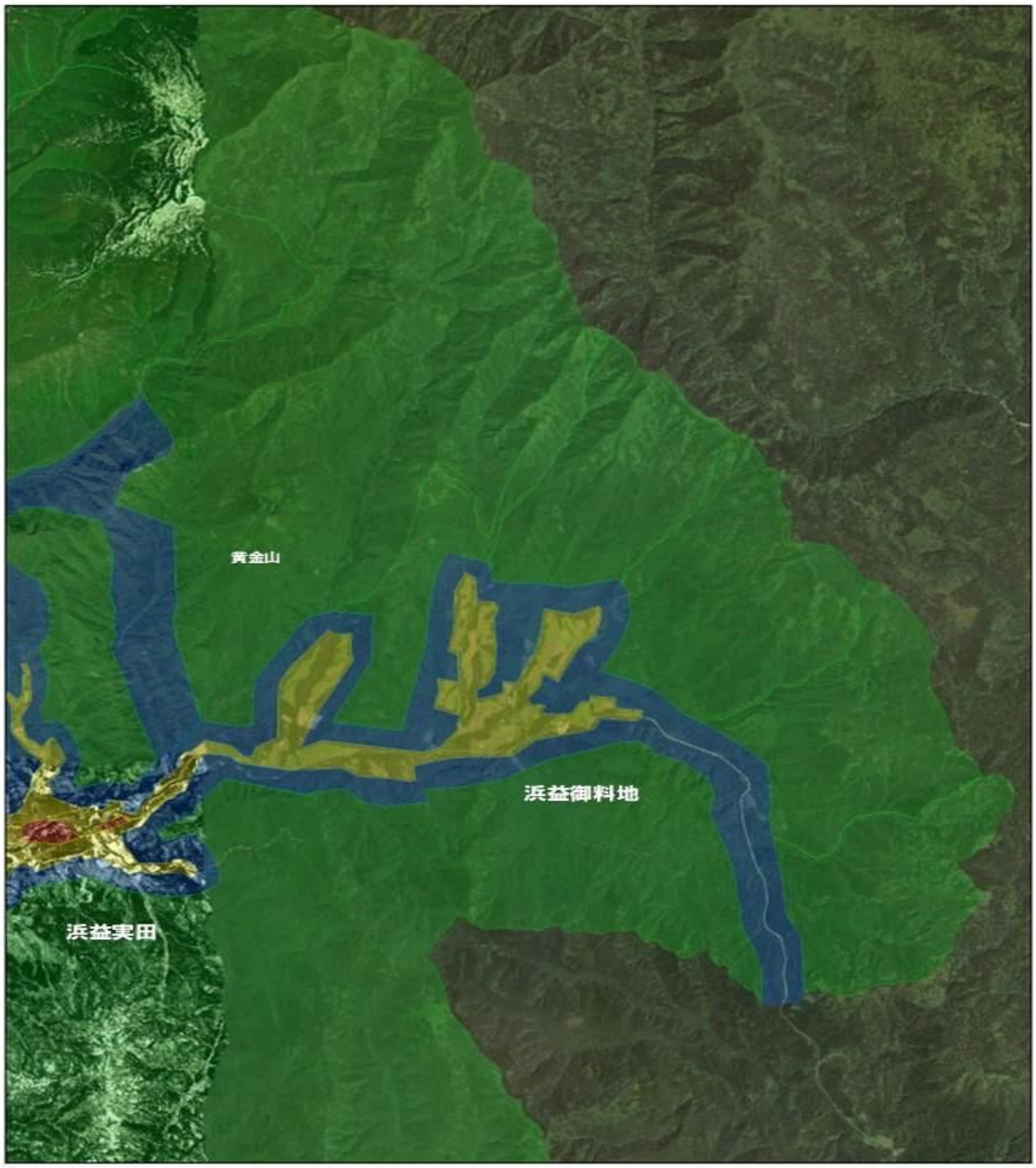
：緩衝地帯

：防除地域

：排除地域

浜益③

ヒグマゾーニング計画（案）



2026/8/24

1:100,000

0 0.5 1 2 mi

0 1 2 4 km

：コア生息地

：緩衝地帯

：防除地域

：排除地域

Earthstar Geographics

浜益④

ヒグマゾーニング計画（案）

2026/8/24

1:100,000

0 0.5 1 2 mi

0 1 2 4 km

Earthstar Geographics

：コア生息地

：緩衝地帯

：防除地域

：排除地域